

2023.4月 月例研修会・レポ

ナメゴ溪谷 桜の眺望

飯島 八重子

4月18日(火曜日)天候を気にしながらも当日は晴れ! 気温も上々の中、8時に25名の参加者を乗せたマイクロバスはこれから行く絶景眺望のナメゴ溪谷のお花見に心もウキウキ。和気あいあいのお喋りの中スタートしました。

実は2021年の11月の1泊研修会で、当初2日目に「ナメゴ溪谷の紅葉狩り」が予定されていたのです。その時は中型バスでの行動であったために、ヘアピンカーブの細い道では運行が無理だということで断念した経緯がありました。そして今回の研修会ではマイクロバスで行くというリベンジになったのです。

さて一度のトイレ休憩を挿み169号を經由し、多武峰街道から宮滝や川上村を通り上北山村を結ぶR309号線からいよいよ行者還林道へ。

間もなく車内のあちこちから「わあ〜! 凄いわ〜!」「綺麗〜!」の音が響き渡り、いよいよヘアピンカーブの行者還林道です。その道を上手に運転してくださるのは運転手の岡田さん(お世話になりました)。待望の目的場所に到着時刻は10時50分。皆さん一目散に眺望場所へ…来たかいはありましたね〜!!「こんな場所はなかなか来られへんわ〜」「桜は散ってしもてるかと思ってたけど、ちょっと残ってて良かったなあ〜」そこかしこから聞こえてくる感激の数の声の数々。参加者皆さまの感動の思いを紙面では表せませんが、目の前に広がるロケーションの素晴らしさ、深緑の山の中で尾根筋に織りなす自然のグラデーション。名残の桜の薄ピンク、そして花の後を補うかのような若葉の新緑、広葉樹の新芽の緑、本当に素晴らしい眺望でした。今回の月例研修会の企画に感謝です。

ここで「ナメゴ谷」についてちょっぴりメモ

ですが、なぜこの素晴らしい景色が? には二説ほどあります。一説には「山火事の際には広葉樹が燃えにくく山林火災の防止のために植生された」。もう一説には「境界線をハッキリさせるため敢えて広葉樹を残した」。皆さんはどちらと思われますか? いずれにせよこの素晴らしい景色を見る事ができるのはありがたい事ですね。

さて眺望場所では路肩駐車でもあり、感動の時間もほんの10分間で11時には出発、もう少しこの感動の高揚感に包まれたかったのですがそろそろお昼時間、お腹も空いてきました。そしてバスに乗るなり心はお花見のお昼ご飯。一路、バスは昼食場所の「あきつの小野公園」へと急ぎます。車中では「お腹減った〜」の声…(やっぱり今回のもう一つのお楽しみは年一回のお花見の宴ですよ)。

12時過ぎ到着した公園では桜が少し残っておりシャクナゲも満開で早速「柿の葉寿司」を頬張る人やおつまみ片手にビールやお酒をご機嫌宜しく飲まれる方々、そして出ました「ならやま音頭」、飲まれる方々はそれなりに、飲めない方もそれなりに集まり、楽しいひと時を過ごしました。昼食時間も2時間ほど余裕があり10人の方は蜻蛉の滝の散策に、滝では落差約50メートルの豪快な滝飛沫に感動された様子。記念写真もバッチリ撮影。14時過ぎには大滝ダム見学へ、紀ノ川本流の上流部に建設された100メートルの重力式コンクリートダムに圧倒され、その後帰路に…。帰りのバスの中ではMさんAさんからの景品付き難問珍問クイズ大会もあり、車中は爆笑に包まれ、事故もなく無事に楽しい月例研修会の終了となりました。

